

◎令和2年度予算がまとまりました

納付金への過重な負担などで厳しい状況 医療費節減にご協力ください

令和2年2月17日に開催された第117回組合会において、令和2年度の予算が可決・承認されましたので、お知らせします。

健保組合をめぐる情勢は
依然として厳しい状況

当健保組合における令和2年度の予算は総額24億8700万円となりました。経常収入では24億2770万円、経常支出は23億5587万円となり、経常収支で7183万円の黒字を見込んでいます。

しかし、健保組合を取り巻く情勢は、高齢者医療制度への過重な納付金負担が依然として続いていることに加え、現在の日本では、米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染症などによる

▶ 令和2年度収支予算概要 ◀

《健康保険》

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,422,385
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	30,614
繰 入 金	1
そ の 他	34,000
合 計	2,487,000

■支出

科 目	予算額(千円)
病気やケガやお産をしたときに 健保組合が負担する保険給付費	1,320,535
高齢者の医療に使われる納付金	820,478
健康づくりに使われる保健事業費	155,840
健保組合が互いに助け合うための拠出金	30,614
そ の 他	59,533
いざというときのための予備費	100,000
合 計	2,487,000

《介護保険》

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさん※と事業主から 納められる介護保険料	237,171
雑 収 入 等	29
合 計	237,200

■支出

科 目	予算額(千円)
国に納める介護納付金	234,526
介護保険料還付金・積立金	124
予 備 費	2,550
合 計	237,200

※介護保険第2号被保険者たる被保険者等

経済の停滞が懸念されており、景気動向の影響を受けやすい健保組合の財政は、先行き不透明な状況に置かれています。

納付金は保険料の3割となる重い負担に

収入では、みなさんと事業主から納めていただく保険料を前年度比9055万円減少の24億2239万円と見込んでいます。今年度の健康保険料率については収支見込みから、前年度と同じ千分の100としています。

支出においては、みなさんの医療費や各種給付金として使われる保険給付費について、同比1651万円増加の13億2054万円を見込んでいます。

高齢者医療制度への納付金は、同比1億5767万円減少の8億2048万円となり、保険料に占める割合で見ると34%となりましたが、依然として重すぎる負担となっています。

このほか、みなさんの健康づくりのための保健事業費は、前年度とほぼ同額の1億5584万円を見込んでお

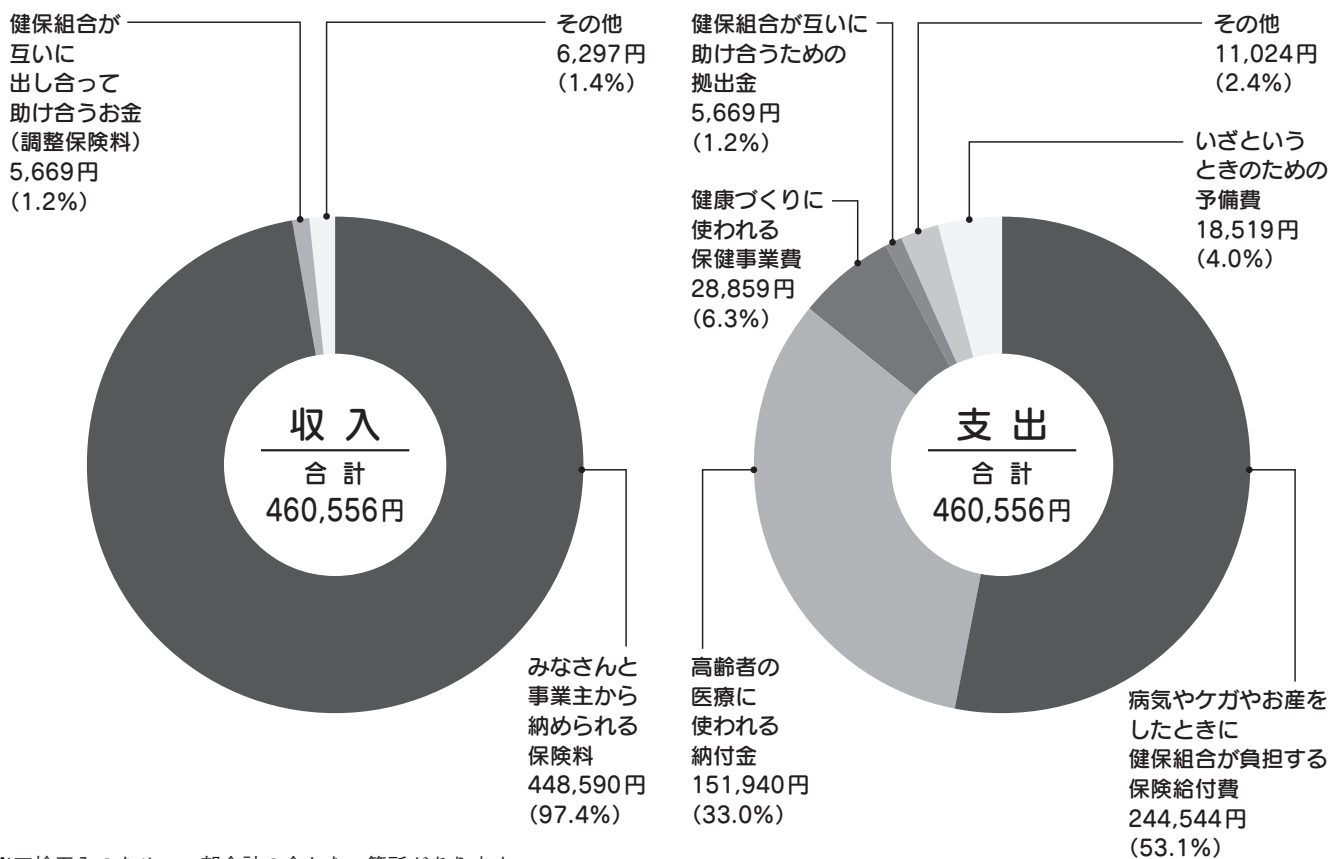
り、令和2年度も各種健診や運動大会、契約保養所利用への費用補助など、さまざまな事業を実施していく予定です（詳細は4ページをご覧ください）。

以上のことから、当健保組合を取り巻く情勢は厳しいものの、財政の健全化に努めるとともに、みなさんの健康の保持増進につながる事業を引き続き行ってまいりますので、みなさんも日ごろから健康づくりを心がけ、医療費節減にご協力くださいますよう、お願いいたします。

介護保険料率は千分の16を維持

令和2年度の介護保険については、総額で2億3720万円を見込んでいます。当健保組合が国に納める介護納付金は2億3453万円となっており、これをもとに算出した介護保険料率は、前年度介護保険料率の千分の16（事業主・被保険者折半負担）を維持となりました。なお、介護保険収入は2億3717万円を見込んでいます。

▶ 被保険者1人当たりでみた収支予算（健康保険）◀



※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります。